

# 忙中閑話

## 気概を持つ

景気の2番底が来るかも知れない、と予測されている。一部には持ち直しがあり、業績回復している企業もあるが、消費生活に力強さがなく、企業の投資意欲も低下している等、見通しがつかない状況にある。

そこで、企業は、政府に対して経済対策、成長戦略を要望している。

政府の政策によって景気が左右される面はある。しかし、何とんでも、企業自身が、自力をもって困難を克服し、景気を回復させるという、烈々たる気概を持つことが、もっとも重要だと思います。

新聞紙上、多くの経営者の談話等が掲載されている。しかし、「これではだめだ」「なんとかしなければ」、「自社はこうする、自分はこうする」という、命がけの必死さが伝わって来ない。

政府に、「〇〇を要望する」と、要望書を出してはいますが…これだけでいいのかどうか。

「気概」というものを感じない。「不退転の決意」というものを感じない。

戦後の廢墟から復興した原動力は、政治の力、官僚の力もさることながら、必死になって、額に汗して働いた企業の経営者や社員ではなかったのでしょうか。そして、経営者の気概とは…。

### ◆鮎川 義介

金持ちにはならぬ。だが、大きい仕事をしよう。願わくは、社会公益に役立つ仕事を切り開こう

### ◆根津嘉一郎

産業を起こすは私利私欲ではなく、日本に貢献するという明確な目的を持っている

### ◆山葉 寅楠

事業の基本方針は、国産化による国益の追求にある

### ◆黒田善太郎

国産製品を通じて、国家社会に貢献することを期す

### ◆田中 久重

国家に有用なる機械を製造して、奉公の誠を尽し、

世の公益を広めんことを期す

### ◆早川 徳次

我らの事業は、決して個人の野心や自己満足だけでいいわけではない。事業の公益性という点から、よりよい社会への奉仕と感謝の実行であると信じたい

### ◆石橋正二郎

工場は誰が経営しようと公共の財産である

### ◆水野 利八

スポーツの振興事業を行い、国民の心身の健康に資する。スポーツは聖業

### ◆福原 有信

西洋医学に基づく良質な商品を提供して、人々の健康に尽したい

### ◆松下幸之助

営利と社会正義の調和に念慮し、国家産業の発達を図り、社会生活の改善と向上を期す(昭和4年)  
経営の基調を力強く国家再建、産業報告の誠を尽す。  
積極的に仕事を作り出す(昭和20年8月16日)

かつて、経営評論家の三鬼陽之助氏は、次のように語っておられます。

「成功する経営者と失敗する経営者。尊敬する経営者とそうでない経営者を最後に分けるものは、使命観の強さ、信念の強さにある。土光敏夫、松下幸之助、本田宗一郎に共通するものは、身の引き締まるほどの使命観に燃えた姿であり、確固たる信念を持ち、それを貫き通すために、厳しく自己を律した姿である」

自社の経営を大切にすることも、それは自社のためにあらず、その目線の先には、社会や国家がある。社会のため、国家のために、自社の経営はどうあるべきか…今日、大なしている企業の創業者は、まさにこの一点にこだわりを持っておられた。

厳しい環境ではありますが、こういう時こそ、創業の精神に返り、気概をもって経営することが肝要ではないでしょうか。



#### PROFILE

テクノ経営総合研究所 TECコンサルタント

上田 勝 うえだ まさる

松下電器出身、営業本部および本社経営監査部等を経て、松下流通研修所、販売研修所 取締役所長を歴任  
NPO兵庫経営塾 副理事長